3. 行政行為と裁量

Date		Date		Date	
/		/		/	

次のア～オに挙げる行政行為のうち、行政行為の分類上、「許可」とされるものはいくつあるか。

ア　農地法に基づき農業委員会によって行われる農地の所有権移転の「許可」

イ　電気事業法に基づき経済産業大臣によって行われる電気事業の「許可」

ウ　国籍法に基づき法務大臣によって行われる外国人の帰化の「許可」

エ　旅館業法に基づき都道府県知事によって行われる旅館業の経営「許可」

オ　風俗営業法（風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律）に基づき都道府県公安委員会によって行われる風俗営業の「許可」

1　一つ
2　二つ
3　三つ
4　四つ
5　五つ

正解 2

3. 行政行為と裁量　「行政行為の分類」

ア　「許可」とされない

農地法に基づいて農業委員会が行う農地の所有権移転の「許可」は、私人の農地売買等の法律行為の効力を補充してその効力を完成させる行為であり、行政行為の分類上、「認可」にあたるとされている。

イ　「許可」とされない

電気事業法に基づいて経済産業大臣が行う電気事業の「許可」は、国民に対し、国民が本来有しない権利や権利能力等を設定する行為であるので、行政行為の分類上、「特許」にあたるとされている。

ウ　「許可」とされない

国籍法に基づいて法務大臣が行う外国人の帰化の「許可」は、外国人には、日本国籍を取得する自由が存在するとは考えられておらず、特別の能力又は権利を新たに付与する行為であるので、行政行為の分類上、「特許」にあたるとされている。

エ　「許可」とされる

旅館業法に基づいて都道府県知事が行う旅館業の経営の「許可」は、本来だれもが有している営業の自由を、社会公共の秩序維持の観点からあらかじめ一般的に禁止しておき、個別の申請に基づいて禁止を解除する行為であるので、行政行為の分類上、「許可」にあたるとされている。

オ　「許可」とされる

風俗営業法に基づいて都道府県公安委員会が行う風俗営業の「許可」は、肢エの解説と同様、本来だれもが有している営業の自由を、社会公共の秩序維持の観点からあらかじめ一般的に禁止しておき、個別の申請に基づいて禁止を解除する行為であるので、行政行為の分類上、「許可」にあたるとされている。

以上により、「許可」とされるものはエとオの２つであり、正解は**2**となる。